

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		消防防災施設整備事業					
事業の概要		<p>災害による被害を防止するため消防防災体制の充実は安心・安全のまちづくりを推進するうえで欠かすことのできないものである。消防・防災設備の整備は、住民の生命と財産の保護に直接関わるため、これを強化し災害に備えるものである。</p> <p><内容> 消火栓整備 10基 防災行政無線施設整備 野田川地域 22箇所補修 上山田局 更新</p>					
		事業期間	平成19年度				
		総事業費	10,857	本年度事業費	10,857	交付金交付額	5,797
事業 評 価	事業の必要性	防災対策は災害に対する日常の備えが重要であり、平時から危機管理体制の整備に努め、災害に強いまちを構築するため、防災施設の整備は急務である。					
	事業の有効性	防災体制の強化を図ることで災害による被害を未然に防止、または最小限に食い止める。同時に、地域住民の防火・防災意識の向上を図ることで、安心安全のまちづくりに資するものである。					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 消防設備の充実を図ることで、火災発生時における住民のより迅速な対応が可能となる。また、日頃から防災意識の向上を図り、災害発生時の抑制や災害発生時の被害の最小化を図る。					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果 本事業では主に火災時の防災施設整備を実施し地域住民の防災意識向上を図っているが、これをきっかけに水害・風害・地震等の災害に見舞われた際の危機管理意識にも向上につながり、安心・安全なまちを目指す礎となる。					
5 行財政改革に資する成果 地域の要望に基づき町全体の均衡を図りながら整備を進めることで、町全体の防災体制の強化を効率的に実現する。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。